

1. 研究主題

学びを実感できる授業づくり

～対話的な学び合いを通して～

2. 主題設定の理由

本校は昨年度、主体的・対話的・協働的に学び合う授業をめざして、次のようなことに重点をおいて授業づくりを行ってきた。

- ① 課題提示の工夫から、考えたくなる課題
- ② 対話的・協働的な姿の共有
- ③ 学びの自覚化につなげるふり返りと適用題
- ④ ノート指導による学習の足跡

その結果「自分の考えを発表したり、みんなで話し合ったりすることは楽しい。」と考える児童が大幅に増えた。話すことへの抵抗も少なくなってきている。

しかし、昨年度の学力・学習状況調査や日頃の学習状況から、【学びの12か条+】と照らし合わせて本校の児童の実態をみると、依然として下記のような課題が残っている。

★自信がなく、課題について自分の知識や技能を活用して、主体的に取り組もうとする姿が見られない児童がいる。 【学びの12か条+2条】

★考えの根拠や筋道を明確にして、説明や論述をする力をつける必要がある。 【学びの12か条+3条】

子ども達がより主体的に取り組む姿勢を育み、質の高い学び合いにつなげるために研究主題を「学びを実感できる授業づくり」、副題を「対話的な学び合いを通して」と設定した。算数科において、考えたくなる課題提示から自らの考えをもつ。視点が明確で話し合いたくなる学び合いから学びを実感する。振り返りを行い、学んだことを自覚する。以上のような授業をめざして、研究を進めていくこととする。

3. 研究内容

(1) 研究の重点

- ① 主体的な学びにつながる課題設定の工夫(学びの12か条+2条)
 - ・既習事項の活用
 - ・課題提示の仕方
 - ・学習課題の設定
- ② 学び合いを促す展開の工夫(学びの12か条+3条)
 - ・学び合いを促す教師の発問やしかけ

- ・必然性や必要感のある話し合い
 - ・子ども達が考え方の共通点や相違点を見出せるような手立て
- ③学びの自覚につながる振り返り
- ・知識・技能を別の場面で活用
 - ・新たな課題への意欲づけ

(2) よりよい学習習慣・生活習慣づくり

①学習規律・学びのスタイル

- ・学習規律の確認，徹底
- ・「庄小学びのスタイル」でのめざす授業像のモデルを全校で共通理解
- ・さくらチャレンジでの取組

②「授業交流」の取組

- ・子ども同士の授業参観

③暗唱の取組

- ・毎月の暗唱テストの実施
- ・暗唱集会

④しいの木タイムの充実

- ・基礎的・基本的な知識及び技能の定着＋活用力問題へのチャレンジ
- ・毎月の計算がんばりテストの実施

⑤家庭学習の充実

- ・家庭学習の手引き，自学の心得
- ・「音読」「計算」「漢字」「自学」等への取組
- ・家庭学習パワーアップ週間の取組

4. 研究計画

日程	授業研究	研究全体会・推進委員会・若プロ	ブロック研究会・その他
4月		研究推進委員会	基本方針、内容等決定
	校内研修サポート	研究全体会①	県総合研修センター橋村指導主事
		研究全体会②	今年度の研究重点項目について
			6年「学びのスタイル」全校児童に紹介 さくらチャレンジ①②
5月		研究全体会③	学力向上に向けて
	校内研修サポート（2年提案模擬授業）	研究全体会④	県総合研修センター橋村指導主事
	計画訪問指導案検討（2年）	セレッソ庄	2年教材研究
	計画訪問指導案検討（2年）	研究推進委員会	
		研究全体会⑤	
6月	計画訪問模擬授業（2年）	研究全体会⑥	
	計画訪問指導案検討（5年）	セレッソ庄	5年教材研究
			ステキ自学揭示
	計画訪問指導案検討	低中高部会	
	計画訪問研究授業（2年：小原）	研究全体会（授業協議会）⑦	
	指導案検討（6年）	研究推進委員会	

7月	模擬授業（6年）	研究全体会⑧	
	研究授業（6年：中谷）	研究全体会（授業協議会）⑨	
8月	指導案検討（3年・4年・すこやか）	セレッソ庄	3年4年すこやか教材研究
	授業研指導案検討（5年：嘉野）	研究推進委員会	
	授業研修	セレッソ庄	
		研究推進委員会	学びのスタイル、2学期の取り組み検討
	要請訪問指導案検討（3年：小林）	研究全体会⑩	
	授業研模擬授業（5年：嘉野）	研究全体会⑪	
	要請訪問模擬授業（3年：小林）	研究全体会⑫	
9月	指導案検討（1年）	研究全体会⑬	
			5年「学びのスタイル」全校児童に紹介 さくらのめあてチャレンジ①
			授業交流からのチャレンジ②
10月		研究推進委員会	要請訪問、授業研の日程・協議題について
	授業研研究授業（5年：嘉野）	研究全体会（授業協議会）⑭	
	要請訪問研究授業（3年：小林）	研究全体会（授業協議会）⑮	
			ステキ自学掲示
11月	模擬授業（1年：曾和）	研究全体会⑯	
	研究授業（1年：曾和）	研究全体会（授業協議会）⑰	
	研究授業（4年：中谷）	研究全体会（授業協議会）⑱	
		研究推進委員会	研究まとめについて
		研究全体会⑲	研究まとめについて
12月	研究授業（すこやか：山田）	研究全体会（授業協議会）⑳	
	研究授業（4年：中谷）	研究全体会（授業協議会）㉑	
1月		研究推進委員会	研究のまとめ
		研究全体会㉒	研究のまとめ
2月		研究全体会㉓	研究物作成
		研究全体会㉔	来年度にむけて

5. 研究の全体構想図

学校教育目標 **かしこく やさしく たくましく**

【めざす子ども像】

自学

すすんで学ぶ子

- ・自ら課題をみつけ、課題を解決するために考え、より良い判断ができる子
- ・自分の考えだけでなく、友達の考えも大切にすること

至誠

やりぬく子

- ・あきらめず最後までがんばろうとする子
- ・自分のすべきことを、心を込めて取り組むことができる子

敬愛

健康で思いやりのある子

- ・認め合い、助け合い、励まし合える子
- ・ふるさとが好きで、感謝の気持ちを素直に表現できる子

研究主題

学びを実感できる授業づくり

～対話的な学び合いを通して～

学力向上

- ★しいのきタイムの充実
- ★計算がんばりテスト
- ★自学・音読への取組

授業づくり

- ★既習の活用
- ★ノート指導
- ★考えたい問題・課題づくり
- ★ふりかえりの充実
- ★授業展開の共有
- ★みんなで「つなぐ」授業

授業力向上

- ★模擬授業による授業改善
- ★授業公開・授業交流
- ★研修会への参加

《学力・学習を支える基盤づくり》

学習環境の整備

認め合い、ともに高め合うことができる学級づくり

効果的なICT活用

読書活動の推進

学習規範意識の育成

「話す」「聞く」態度・姿勢の醸成

生徒指導の3機能を生かした授業作り

家庭学習の充実

地域の先生を招いての授業

学校・学級だよりの発行

《家庭・地域との連携》

《校内での基盤づくり》